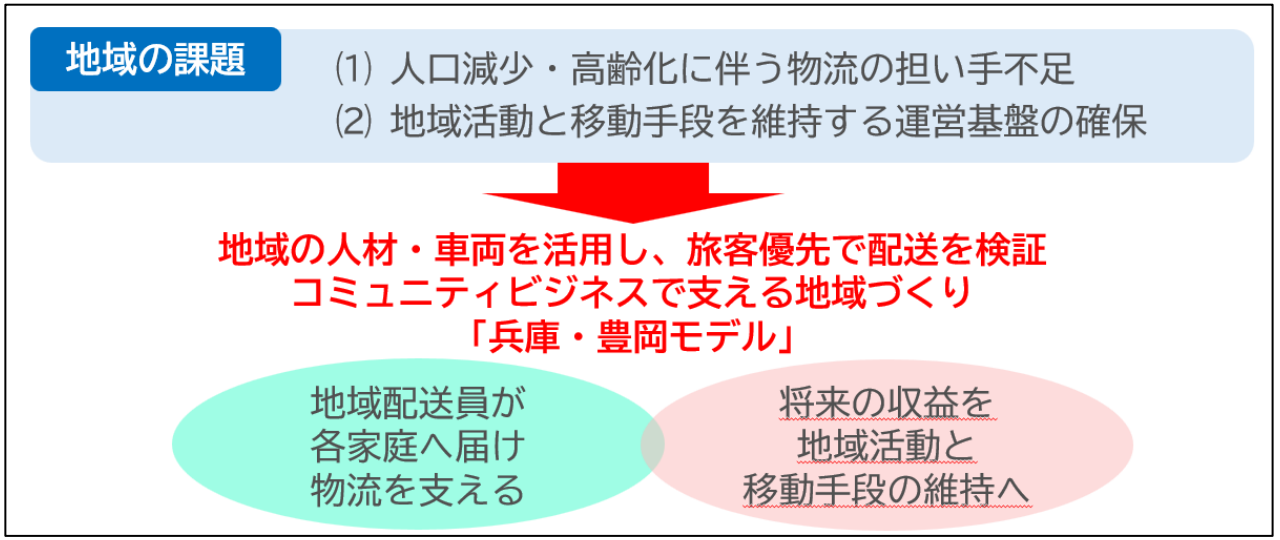
「コミュニティ配送」の実証概要

別紙　日本郵便

実施背景

将来的な生産年齢人口の減少を見据え、住民生活や各種サービスの持続可能性を確保する取組の一環として、地域住民が配送を担う「コミュニティ配送」を試行します。



（※引用：豊岡市作成資料）

目指すもの

- ✓ 地域住民：持続可能な地域づくりの推進（人的リソースの活用と独自財源の創出）
- ✓ 豊岡市　：住民の生活・サービスの維持、配送業務を通じた地域コミュニティの活性化
- ✓ 日本郵便：将来の中山間地域における集配ネットワークの持続可能性の確保
- ✓ 兵庫県　：上記を踏まえた“兵庫・豊岡モデル”の実現

Copyright（C）JAPAN POST Co.,Ltd. All Rights Reserved.

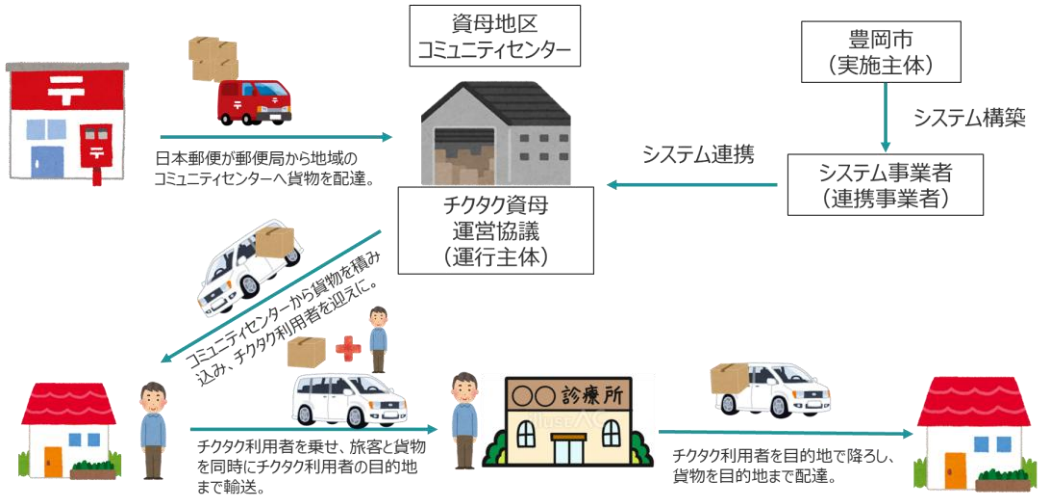
「コミュニティ配送」の実証概要

日本郵便

実証概要

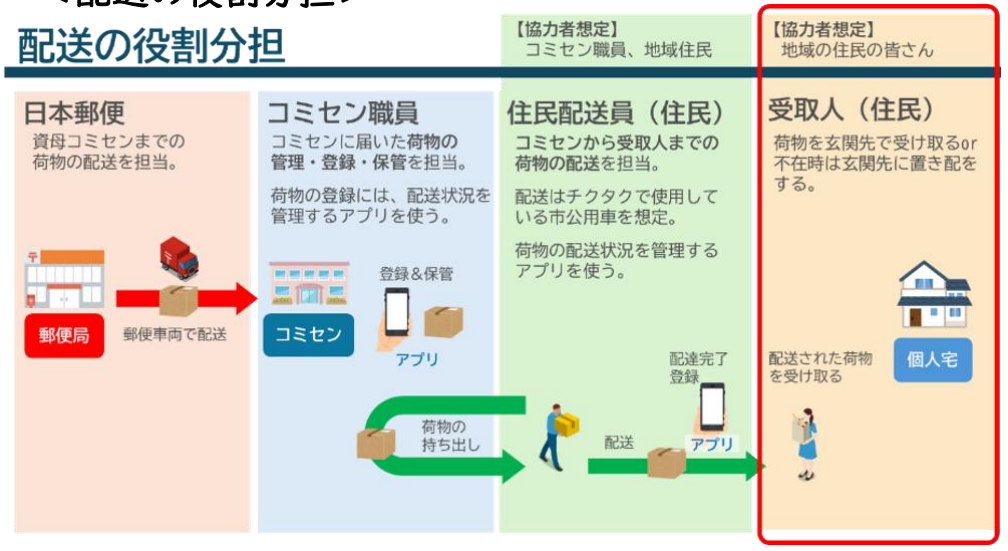
■目的　：日本郵便から公民館への荷物の授受および一定期間の公民館から住民への配送フローの検証
■方法　：豊岡市の公共ライドシェア（地域主体交通「チクタク」）による貨客混載
■期間　：2026年11月16日（月）～12月18日（金）
■場所　：豊岡市但東町資母地区
■体制　：・「配送員」　→地域住民(地域主体交通「チクタク資母」ドライバー)
・「管理者」　→豊岡市
・「実施主体」→資母まちづくり協議会
・「企画運営」→兵庫県、豊岡市役所、日本郵便
■配送物：通常ゆうパック（一部に限る）

＜貨客混載による荷物配送の流れ（イメージ）＞



＜配送の役割分担＞

（※引用：豊岡市作成資料）



Copyright（C）JAPAN POST Co.,Ltd. All Rights Reserved.

2026年度　ドローンの実証概要

日本郵便

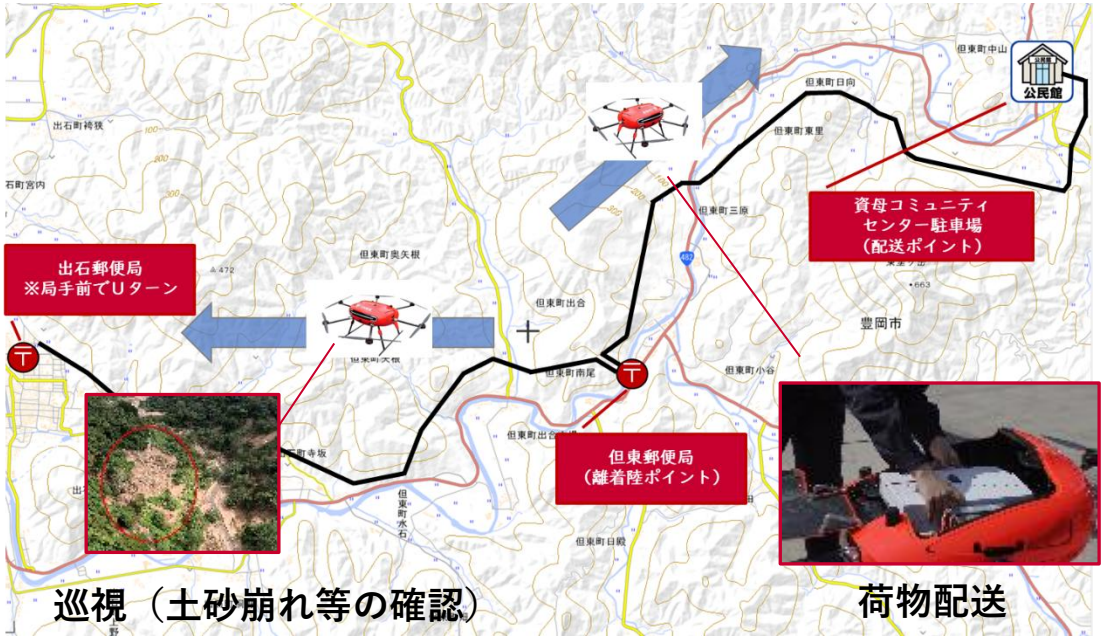
実証概要

「多数機同時運航」の実証（日本郵便社員による運航）

■目的：多数機同時運航による一機体当たり運用コストの低減に向けた知見獲得

■内容：「無人航空機の多数機同時運航を安全に行うためのガイドライン第2版」（2026年6月2日改訂）に基づく、「物流」・「巡視」の用途での同一型式による二機体同時飛行

■日程：2026年11月9日（月）～11月27日（金）



（地図出典：国土地理院地図を基に日本郵便作成）

＜使用機材＞



ACSL社 PF4



専用包装箱
（耐水）

- サイズ　：2.3m ×2.5m ×0.6m（プロペラ含む）
- 動力　：バッテリーEV
- 最大離陸重量：24.9kg（最大積載重量：5.5kg）
- 最大対気速度：25.0m/s
- 最大飛行距離：40km以上（荷物5.5kg搭載時）
- 最大耐雨量　：10mm/h
- その他特徴　：マルチペイロードでLiDAR/カメラも搭載可能

Copyright（C）JAPAN POST Co.,Ltd. All Rights Reserved.